

設定した言語活動を通して育てたい力

○ ボタンの付け方の特徴を理解し、ボタンを付ける物に応じたボタン付けができる。

思考力、判断力の育成

- ◇ 学年 第5学年
- ◇ 題材名 衣服の着用と手入れ
- ◇ 本時の目標
  - ・ 衣服を気持ちよく着るために手入れが必要であることが分かる。
  - ・ ボタンの付け方について理解し、ボタンを付けることができる。
- ◇ 学習の流れ（6時間目／全6時間）

学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て）	評価規準〔観点〕 （評価方法）
1 前時までの学習を振り返る。 ○ 洗濯について学習したことを思い出す。  2 本時の目標を確認する。  3 ボタンの役目について知る。 ○ グループ内で、ボタンが付いている理由について交流する。  4 ボタンには、どんな種類があるか知る。  5 2つ穴ボタンを布に付けてみる。	◇衣服を大切に扱い、気持ちよく着るために、日常の手入れが必要であることを確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         衣服を気持ちよく着るために、ボタン付けをマスターしよう！                     </div> ◇児童が持参したボタンが付いている物について紹介させ、ボタンは何のために付いているのかを考えさせ、数グループに発表させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         ・ 服の前を止めるたり、ポケットなどからものが出ないようにしたりするためにある。                          ・ 飾りやおしゃれのためにある。 など                     </div> ◇児童の持参したものや見本を準備しボタンの種類について知らせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         2つ穴ボタン、4つ穴ボタン、足付きボタン など                     </div> ◇各自にボタンを付けるときに気を付ける点を設定させ、ボタン付けが終わった後、数名に気を付けた点とその理由を発表させる。	本時のねらいを達成する気付きを児童から引き出せるように、良い例と悪い例を比較させるなど教材の提示の仕方を工夫しましょう。  ★比較による気付きから、ボタン付けの必要性やボタンの付け方が分かり、 <u>実感を伴う理解</u> ができます。
6 ボタン付けについて調べ、より良いボタンの付け方を探る。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         ボタン付けの特徴について、理由を考えさせましょう。                           ★理由を考えさせることで、ボタンを付けるための方法だけでなく、付け方の特徴が理解でき、<u>布の厚さや目的に応じたボタン付けができる技能へとつなげることができ</u>ます。                     </div>	◇ボタンの付け方が良くない衣服（付け方がゆるい、ボタンの足がない）と、付け方が良い衣服（布の厚さに応じた足が付いてしっかりと縫いつけられている）を準備し、それぞれを比較させ視点に基づいて、気付きを話し合わせ、発表させる。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         [話し合いの視点]                          ・ 着用時の着心地について気付きを出し合う。                          ・ 見た目について感じたことを話し合う。                          ・ 付け方の特徴を発見させ、なぜそのような付け方をしているのか理由を考えさせる。                     </div> ◇発表をもとにまとめ、手入れの必要性や衣服の厚さによってボタンの足の長さが違うことや、足付きボタン、飾りボタンの取り扱いについて押さえる。	・ 衣服を気持ちよく着るために手入れが必要であることが分かりボタンの付け方について理解している。
7 ボタンの正しい付け方を確認し、再び2つ穴ボタンを布に付けてみる。  8 振り返りをする。  9 本時まとめと次時の学習内容を確認する。	◆付け方を理解していない児童については、教師による師範、ビデオと付けかた見本を準備し、正しい付け方について支援する。  ◇良い例のチェック項目を基に、1回目と2回目のボタン付を比較し、達成度を記述により自己評価させる。  ◇本時の学習内容をまとめ、次時は、生活に役立つ小物を製作することを知らせるとともに、家庭生活に何が必要かを家族の生活をウォッチングして見つけてくることを伝える。	[家庭生活についての知識・理解]（ワークシート、自己評価表） ・ ボタン付けができる。[生活の技能]（ボタン付けの作品）

設定した言語活動を通して育てたい力

○ 生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる。

思考力、判断力の育成

- ◇ 学年 第2学年
- ◇ 題材名 家庭生活と消費について考えよう。
- ◇ 本時の目標 果物ジュースの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。
- ◇ 学習の流れ（4時間目／全7時間）

学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て）	評価規準〔観点〕 （評価方法）
<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <p>○ 生活に必要な物資やサービスを選択する視点について確認する。</p> <p>2 本時の目標を確認する。</p>	<p>◇前時までの学習を想起させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">品質、機能、価格、アフターサービス、環境への配慮 など</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">果物ジュースを選択、購入及び活用するために必要な情報を集め整理できるようになるう！</div>	
<p>3 作った広告を発表する。</p> <p>○ 発表する内容について原稿を作成する。</p> <p>○ 発表前に発表後の評価の視点についての説明を聞く。</p> <p>○ 広告を用い、グループ内で発表した後、果物ジュースを選択するのに、自分が必要とする情報を適切に取り入れている広告を班で1つ選び全体で発表する。</p>	<p>◇前時に作成した果物ジュースの広告を準備させる。</p> <p>◇発表の仕方を示し、原稿作成の参考にさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【発表の仕方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要な情報は、○○と○○……です。理由は、(例)△△で果物ジュースを選ぶ時に必要だからです。(○○には広告に取り入れた情報をすべて紹介する。)</li> <li>・ 特に私が必要とする情報は◇◇です。理由は、△△だからです。</li> <li>・ 「質問」や「感想」をお願いします。</li> </ul> </div> <p>◇グループ内で発表者を決める際に、導入で確認した「生活に必要な物資やサービスを選択する視点」に添って表を作成し、点検させ、根拠を明確にして考えている広告を選ぶように留意させる。また、表にない視点については、「その他」の欄に記入させる。</p> <p>◇ グループの代表者は、グループ内で発表したときと同じ方法で全体に発表する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「広告の内容ついて発表しましょう」という曖昧な指示でなく、「何を発表させたいのか」を明確にした発表会にしましょう。</p> <p>★発表の仕方を示すことにより、導き出したい意見を明確にでき、発表後にお互いの広告を評価するときの視点が定まってきます。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>作成した広告を使って説明させましょう。</p> <p>★全員が広告を作るという学習活動を行うことで、自分の考えと他者の考えを比較しやすくなり、振り返りをする時に自分には無い、新たな視点を発見しやすくなります。</p> </div>
<p>4 振り返りをする。</p> <p>5 まとめをする。</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>◇友達の発表した内容と自分の広告を比較させ、自分には無かった視点を探させる。自分の作った広告に新たに加えるとよい内容についてワークシートに記入させる。</p> <p>◆机間指導により、生徒のつまづきを把握し、必要な情報を導き出す助言を行う。</p> <p>◇自分の生活と結び付けて考えている例やその他の適切な視点を取り上げ、評価する。</p> <p>◇果物ジュースを選択、購入及び活用する際に必要な情報について整理する。</p> <p>◇選択する物資やサービスに関連する品質表示やマークなどの表示について知らせる。</p> <p>◇次時は、自分の生活に必要なものの選択、購入及び活用について考えるため、選択したい物資・サービスに関する広告や情報を持ってくることを知らせる。</p>	<p>・ 果物ジュースの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。〔生活の技能〕(ワークシート、広告)</p>



設定した言語活動を通して育てたい力

○ 郷土料理としての特徴を踏まえ、新しいお好み焼きを考案することができる。

思考力の育成

- ◇ 科目 食文化
- ◇ 学年 第3学年
- ◇ 題材名 日本の食文化 郷土料理
- ◇ 本時の目標 お好み焼きのキャッチコピー作りを通して、郷土料理としての特徴を踏まえた新しいお好み焼きを考案することができる。

◇ 学習の流れ (3時間目/全5時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 前時を振り返る。	◇沖縄の郷土料理について、その特徴となるキーワードにはどのようなものがあつたか確認させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お好み焼きの文化的・歴史的背景や地域性を理解している。 〔知識・理解〕 (ワークシート)</li> </ul>
2 本時の目標を確認する。	「広島風お好み焼き」をPRするキャッチコピーを作ろう！	
3 お好み焼きを表現する言葉をワークシートに記入する。	◇お好み焼きはどんなものかを表す言葉をワークシートのキーワードに沿って考えさせる。	
4 お好み焼きの特徴について理解する。	◇お好み焼きの文化的・歴史的背景や地域性について、スライド等を用いて説明する。	
5 広島風お好み焼きを紹介するキャッチコピーを作成する。 <b>個人</b>	◇広島郷土料理として、広島風お好み焼きの特徴を踏まえたキャッチコピーにするよう指示する。 ◆作成できない生徒には、これまでの学習中の言葉を使って作成させるなどの助言をする。	
6 班の代表のキャッチコピーを作成する。 <b>班</b> ○ 評価する観点を確認し、ワークシートの相互評価の観点の欄に記入する。	◇班の代表のキャッチコピーを選ばせる際に、さらに改善しても良いことを伝える。 ◇相互評価の観点を確認する。 【相互評価の観点】 ・お好み焼きのことがよく分かるキャッチコピーであるか。 ・広島郷土料理としてのお好み焼きの特徴が分かる表現になっているか。 ・学習した言葉や方言等を用いて分かりやすく表現されているか。	
○ 班のメンバーの発表を聞き、評価シートに気付き等を記入する。	◇発表する際は、自分が考えたキャッチコピーのアピールポイントを添えるよう指示する。 ◇評価シートに記入する際は、善し悪しと判断した理由を添えるよう指示する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お好み焼きの郷土料理としての特徴にふさわしいキャッチコピーを考えることができる。 〔思考・判断〕 (ワークシート)</li> </ul>
○ 話し合いにより、班の代表のキャッチコピーを作成する。	◇お好み焼きの特徴について学習した言葉や方言を用いて、分かりやすく表現されたキャッチコピーを作成させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>相互評価の評価シートを工夫しましょう。</li> <li>★相互評価の観点を明確にし、ワークシートの評価欄の項目を工夫することにより、友達発表を聞く時や自分のキャッチコピーを見直す時の視点をもつことができ、様々な意見を客観的に分析することができます。</li> </ul>
7 本時の振り返りをする。 <b>個人</b>	◇広島風お好み焼きの特徴を踏まえた、キャッチコピーを作成することができたか自己評価させる。 ◇話し合いによって、気付いたことをまとめる。	
8 次時の内容を確認する。	◇次時は班ごとに発表を行うことを知らせる。	

